2018.11.1 発行

メガネスーパー
EYE CARE STATION

アイケア研究所レポート －特別号－

〔特集〕

今回は、過去最大規模で出展！さらにパワーアップした内容でお届けしました。

第31回 国際メガネ展（IOFT2018）レポート

メガネスーパーは、2018年10月22日（月）～24日（水）、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級のメガネの展示会である国際メガネ展（IOFT）に出展しました。今回は、例年の約2倍で過去最大の規模となるスペースをフル活用し、メガネスーパーの最新のアイケアソリューションを展示。多くのご来場者の方々に、メガネスーパーをはじめとするビジョナリーホールディングスグループの商品・サービスを知っていただき、そして体験していただく、より良い機会となりました。今回は、本イベントの速報をお送りします。

1. **アイケアリラクゼーション&イヤーセラピー**
2. **最先端の夜間視力検査&両眼視検査**
3. **アイウェア・アイケア関連商品の卸販売・コラボ商品・OEMのご提案**
   ・オリジナルコンタクトレンズ　・オリジナルアイウェア＆コラボ商品　・アイケアサプリ　・ロービジョン製品など
4. **補聴器事業支援のご提案**
5. **MSアイケアスクール入学生募集**
6. **メガネ・補聴器出張訪問サービス**
7. **メガネ型ウェアラブル端末「b.g.(ビージー)」**
8. **MSアイケアスクール学校長によるレンズ技術セミナー**

セミナー風景

「アイケア研究所」は、メガネスーパーが中心となり、約900万人の顧客と、医療従事者、眼はもとより健康全般に関わる企業と連携しながら、眼の健康寿命の延伸を目指して最先端のアイケアの提供に取り組んでいます。「アイケア研究所レポート」では、毎日に役立つアイケア情報を皆様にお届けします。

国際メガネ展（IOFT2018）出展のポイント

今回、メガネスーパーの出展においてポイントとなったのは、次世代型店舗で展開するアイケア商品・サービスの展示と、新会社・VISION WEDGE（ビジョンウェッジ）におけるメガネ・補聴器などの卸販売を行う「ホールセール事業」、店舗の運営を行う「コンサルティング事業」、メガネの加工やリペア、商品管理システムの業務委託を行う「アイケアコミュニケーション事業」の3つの事業のご紹介です。

メガネスーパーを中心とするビジョナリーホールディングスグループは、さらにアイケアの拡充・浸透を加速させていくことを目指します。

メガネスーパーのイベントブース

① アイケアリラクゼーション&イヤーセラピー

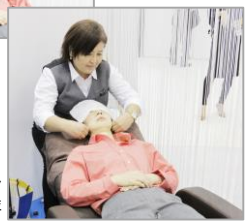
■眼の検査前にアイケアリラクゼーション

まず、メガネスーパー次世代型店舗でも行っている「アイケアリラクゼーション」の体験コーナーへ。仕事などによる眼の疲れや緊張をほぐしてから検査を行うためのものですが、導入している店舗であれば、いつでも1000円～という低料金で本サービスを受けていただくことが可能。

眼の周りを中心に頭や首、肩までほぐしてくれるアイリラクゼーション

■新サービスのイヤーセラピー

また、今回は、メガネスーパーが補聴器の取り扱いにも力を入れていることから新たに導入している「イヤーセラピー」の体験コーナーも併設。耳には多くのツボがあるため、耳だけでなく、からだの各部の疲れやストレスへの効果も期待できると好評を集めています。


新サービスのイヤーセラピーも好評

② 最先端の夜間視力検査&両眼視検査

メガネスーパーは、最適なアイソリューションを提供するために、独自開発のトータルアイ検査をはじめ、世代別検査、スマートフォン老眼検査など、最先端の眼の検査を推進しています。本イベントでは、検査機器を使用して最先端の眼の検査を体験するコーナーも設置しました。

■夜間視力を測定

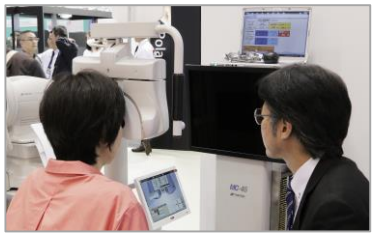
こちらでは、ウェーブフロントアナライザーという多機能型屈折検眼装置を使って、明所/暗所での瞳孔径や屈折値の計測、見え方予測などを行います。高齢ドライバーによる交通事故の増加に伴い、70歳からの運転免許更新時には、夜間視力検査が義務付けられるようになりました。また、暗所では視環境が低下するため、世代を問わず夜間視力検査は非常に重要です。体験した方には、計測結果もご自身で確認していただけます。

検査表も確認できる

夜間視力の検査

■両眼視検査や動体視力検査にも対応

もうひとつは、ミラクルチャートという視力検査機器を使っての検査体験です。この検査機器では、世界最短設置距離60cmでの視力検査が可能です。また、視標の表示方法として偏光液晶ディスプレイを採用したことにより、多彩な視標を表示できるのも特色のひとつです。ランドルト環、レッド＆グリーンなどの豊富な「視標」に加え、両眼立体視、乱視、斜位などの検査では、動きのあるアクティブチャートを使用しての多様な測定を行います。大型2種運転免許試験で行われる「深視力検査」（動的に動いた場合の遠近感や立体感を図る）も体験することができます。


さまざまな形で両眼視の測定も行う

③ アイウェア・アイケア関連商品の卸販売・コラボ商品・OEMのご提案

■オリジナルアイウェアや新作コラボ商品も続々

アイウェアのコーナーでは、メガネスーパーの人気オリジナルブランドをはじめ、女性誌「GLOW」とのコラボによるAIRSTYLE LUXE(エアスタイル リュクス)シリーズ、ワーナーブラザーズとのコラボによる映画「ハリー・ポッター」をイメージした商品、K-POPアイドルのカン・ダニエルのキャラクター商品などが新登場し、注目を集めました。メガネスーパーでは今後もオリジナル商品やさまざまなジャンルとのコラボやOEMにも積極的に取り組み、新会社VISION WEDGE（ビジョンウェッジ）においては、これらの卸販売事業を本格的に展開していく構えです。

女性誌GLOWとのコラボ商品

K-POPのカン・ダニエル商品

ハリー・ポッター商品

■近日発売予定のオリジナルコンタクトレンズ

今回メガネスーパーは、初のオリジナルコンタクトレンズを発表に先駆け先行して公開しました。こちらは１DAYタイプで、①ソフトで心地よい装用感、②乾燥しにくいモイスチャータイプ、③UVカット、④眼の形に合いやすい非球面設計となっています。30枚タイプと、お試しサイズの5枚タイプがあり、いずれもポストインサービスを前提とした薄く小さなパッケージです。

オリジナルコンタクトは、ポストに入るサイズ

■オリジナルアイケアサプリメントのセールスパートナーも募集

現在、自社開発によるオリジナルアイケアサプリメント「アイラックWスーパー」のセールスパートナーを募集中。天然由来成分のアスタキサンチンとコンドロイドという配合特許の組み合わせに、ビルベリー、ルテイン、ビタミンAをプラスした、見る力のサポートを考えたサプリメントとして好評です。

オリジナルアイケアサプリ「アイラックWスーパー」

■高エネルギー可視光線（HEV）カットレンズも初登場

パソコンやスマホから眼を守ることはもとより、コントラスト感度の低下する夜間運転用のメガネレンズとして活用できるほか、体内時計の乱れや、加齢に伴う視機能の低下に対する予防効果も期待されている製品です。

眼に有害な波長の光をカットするレンズ

■クリップオンシステムなど他社製品も積極的に導入

右の写真は、アメリカのケミストリーブランドのクリップオンシステム。矯正レンズ側とクリップ側にマグネットを直接埋め込み、メガネの上に、必要な時だけ12色レンズカラーや度数、３D映像方式のレンズを装着できる画期的なアイウェアです。３Dレンズは、内視鏡手術モニター用もあり、慶応義塾大学医学部でも採用されています。

ケミストリーのクリップオンシステム

■ロービジョンや色覚特性製品もラインナップ

まだメガネ専門店でも取り扱いの少ないロービジョン（弱視）の方向けのLED付き手持ちルーペや拡大読書器などの視覚補助用具、色覚特性の方向けの色覚補正レンズも取り揃え、使い心地をお試しいただきました。メガネスーパーでは、アイケアとQOL（Quality of Life=生活の質的向上）の観点から早期発見を目指し、視力のみならず眼の状態まで細かく計測するトータルアイ検査や色覚検査も行っています。製品購入時の補助制度などについても、ぜひご相談ください。

ロービジョン対応の手持ちルーペ

④ 補聴器事業支援のご提案

■補聴器を扱う店舗を少しでも増やしたい

日本の補聴器市場はまだ小さく、難聴を自覚する方のうち、わずか15%しか補聴器を使用されておらず、多くの方が聞こえの不便に我慢していると考えられます。メガネスーパーは、QOL（Quality of Life=生活の質的向上）の観点からも、補聴器を販売される店舗を少しでも増やすことができたらと願っています。

デザインも品質も向上している補聴器

■豊富な品揃えと確かな技術で補聴器事業をサポート

メガネスーパーは、一流メーカーの補聴器関連製品を豊富に取り揃え、それらの共同仕入れや安価なオリジナルブランドの関連商品の提供など、導入しやすさと売りやすさをサポート。また、検査や購入後のアフターフォローなどについての指導・支援などについても、経験豊富なスタッフにお任せください。

⑤ MSアイケアスクール入学生募集

■アイケアサービスのスペシャリストを育成

社会の高齢化やパソコン・スマートフォンの利用などによる眼の負担増などの時代変化に伴って、アイケア業界では、より質の高いサービスを提供できる人材が求められてきています。MSアイケアスクールでは、現場とスクールとの間にある「現場の壁」を乗り越えるために、メガネスーパーとの連携を活かした業界標準のカリキュラムを採用しています。

最新検査機器を設置した教室

たとえば、従来の視力検査だけではなく、眼の状態や視環境、ライフスタイルにいたるまでトータルに配慮した業界トップクラスの検査システムや、お客さま一人ひとりに最適なメガネを提供するためのフィッティング技術やカウンセリング技術など。また、教育ローン制度や、卒業後の就職相談、転職、開業の相談など、入学から卒業後まであらゆる面からサポートしていきます。

⑥ メガネ・補聴器出張訪問サービス

■出張訪問の予約を随時受付中

メガネや補聴器を購入したい、手持ちのものを調整したいが、なかなか店舗まで出かけられない。メガネスーパーでは、そんなお客さまのために出張訪問サービスを行っています。ベテランスタッフが出張訪問用の専用機材を乗せた車で、ご自宅やご指定の場所に訪問し、視力・聴力測定から販売、調整まで、ご要望に応じて対応します。個人のお客様はもとより各種企業・団体様からのご相談も随時受け付けています。

出張訪問サービスカー

⑦ メガネ型ウェアラブル端末「b.g.」の導入企業様・協力企業様を募集

■多様なビジネスの現場やエンターテイメントの領域で期待

1,000万人を超える顧客に対応してきたメガネスーパーのノウハウを活かし、両眼視による「見え方」と「かけ心地」を追求。「b.g.(ビージー)」は、「視覚拡張」をキーコンセプトに、あらゆるソリューションに対応できる「未来のメガネ」としたものです。現在も、さまざまな領域の第一線で活躍するハイテク企業とのコラボによって複数の案件が進行中です。ビジョナリーホールディングスグループのエンハンラボでは、導入企業様や協力企業様、セールスパートナーを随時募集しています。

⑧ MSアイケアスクール学校長によるレンズ技術セミナー

グループ400店舗の事例公開！
高齢者層に求められている累進レンズ
“度数測定とレンズ選択のポイント”

※講演の一部を抜粋したものです。

本イベントでは、前回に引き続き、MSアイケアスクール学校長によるレンズ技術セミナーを開催し、小売店様をはじめ、多くの来場者の方々にご参加いただきました。

加速する社会の高齢化に伴い、アイケアソリューションにおいても、より高度かつきめ細かな対応が求められてきています。今回は、とくに白内障をはじめとする眼のトラブルを抱える高齢のお客さまの累進レンズについての考え方をお伝えしました。

1. 加齢に伴って変化する視機能

吉野正夫
株式会社メガネスーパー
R&Dグループ
ジェネラルマネージャー
MSアイケアスクール学校長

■加齢に伴う眼の疾患と視覚機能の変化

60歳以上のお客さまには、加齢に伴う眼の疾患をお持ちの方が多く、治療中や手術後の方もおられます。なかでも老眼と白内障は、私たちメガネ専門店において非常に繋がりの深い領域です。

それは、これらの影響によって、①近・遠方視の困難、②明視領域の縮小、③コントラストの低下、④下方回旋（眼を下方に下げる力）の弱衰、⑤輻輳量（ふくそうりょう：眼を寄せる力）の低下といった視機能への影響を強く受けるからです。

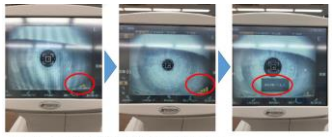
■老眼の定義と輻輳量（ふくそうりょう）や下方回旋量の変化

老眼とは、「加齢による調節力の減退」、すなわち「見える範囲が狭くなった状態」と定義付けられています（※老眼研究会の文献による）。また、当社で10代から80代の世代別に計測したデータを見ても、加齢によって輻輳量や下方回旋量も衰えていくことが分かります（※講演では、輻輳量および下方回旋量の計測グラフを紹介）。

■スーパーレフの活用と計測結果のポイント

最新検査機器・スーパーレフは、ターゲットの明るさを切り替えることによって、任意に瞳孔の大きさを変えて、明所・暗所それぞれの、①瞳孔径、②屈折値、③見え方予測をキャッチできるものです。従来、白内障やレーシックの手術前の検査に使われることが多い機器ですが、屈折検査の幅を広げ、レンズ選択のアドバイスなどにおいてお客さまの満足度を上げることに一役買っています。

スーパーレフの活用

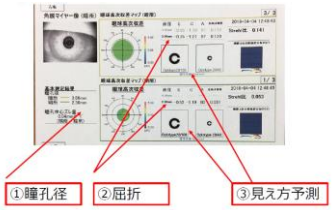


明所・暗所の
①瞳孔径　②屈折値　③見え方予測
をキャッチできる。

■視力変化を引き起こす外因「明暗」

社内における計測データからは、明所時（瞳孔径２mm）と暗所時（瞳孔径６mm）での他覚レフ値の平均を比較すると、暗所時には－0.19Ｄの近視化傾向となり視力の低下に十分影響することが確認されました。また、1段階（0.25D）以上の差が出た眼数は47%に及んでいます。この度数１段階の差を視力換算すると、矯正視力1.2が0.8まで低下するレベルです。この結果からも、一定の条件下（明るさ）のみで視力検査を行う危険性をご理解いただけるかと思います。

スーパーレフ計測結果のポイント



■世代別推移　明暗における瞳孔径の変化

このデータからは、加齢に伴って起こる眼のピント調節力の減衰だけでなく、明暗における瞳孔径の変化量も小さくなることが分かります。これは明るさに応じた光のコントロールも低下する要因のひとつとなることから、高齢者のお客様においてはさまざまな視機能の低下や変化について理解することが重要なポイントといえます。

世代別推移
明暗における瞳孔径の変化

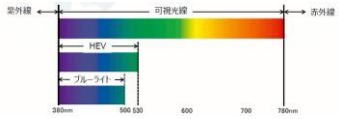
⑧ MSアイケアスクール学校長によるレンズ技術セミナー

2. 高エネルギー可視光線=HEVについて

■高エネルギー可視光線= HEV（High Energy Visible Light）

可視光線に含まれる波長が短い光線で、眼に見える光線であるため、網膜まで到達します。網膜障害を引き起こす原因とされる380～530mmの波長すべてを指します。

高エネルギー可視光線= HEV



可視光線に含まれる波長が短い光線。網膜障害を引き起こす原因とされる380～530mmの波長すべてを指す。

■青色光=ブルーライト（Blue Light）

HEVに含まれる波長の短い光線。網膜障害を強く引き起こす380～500mmの波長を指します。

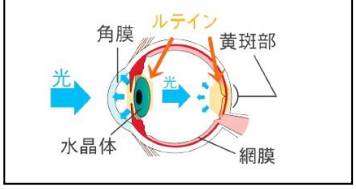
■紫外線=UV（Ultraviolet Radiation）

可視光線より波長が短く、眼に見えません。波長が短いほどエネルギーが強く、UV-A（315～380mm）、UV-B（280～315mm）、UV-C（200～280mm）の3つに分類されます。UV-Cは、オゾン層で吸収され、地上に届きません。UVは角膜への影響、UV-Aは水晶体へ影響を与えます。

■HEVによるコントラストの低下

網膜には、黄斑色素というHEVに対する防御機能（眼の中のサングラス）が備わっています。黄斑色素は、ルテインとゼアキサンチンの2種類からなり、460mm付近のHEVを最も吸収するフィルターの役割を持っています。また、HEVによる酸化ストレスに対して、黄斑色素は抗酸化作用によって視細胞を保護する役割があります。しかし、HEVに晒されることによって黄斑色素は劣化し、コントラストの低下や網膜へのダメージを受けてしまいます。また、加齢によって黄斑色素が減少していくこともわかっています。

黄斑色素の働き



■HEVから眼を保護する必要性

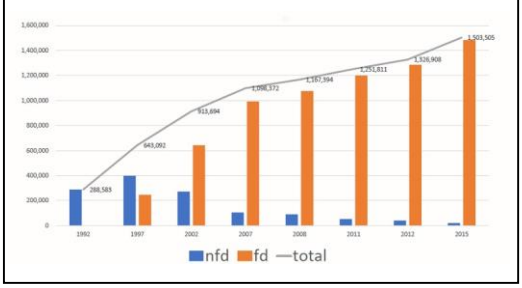
自然光にもHEV成分は多く含まれていますが、LEDやスマートフォンにも抗酸化物質（ルテイン）の劣化や体内時計の乱れに影響を与える波長のHEVが非常に多く含まれていることが実測されています。紫外線やブルーライトだけでなく、HEVから眼を保護することは非常に重要です。当社では、この有害な波長のHEVをカットする黄色のレンズを自社開発しています。本イベントの当社のブースにて展示されているため、そのレンズの効果を体験していただけます。

3. IOL（眼内レンズ）について

■白内障手術は年間120万眼以上

眼内レンズは白内障のみならず、屈折異常の矯正用のものもありますが、白内障に伴う水晶体再建手術は年間120万眼以上と推測されています。また、毎年、1割程度の割合で増加しており、今後も社会の高齢化に従って増えていくことが予想されます。最近では、手術時、小さな切り口で装用できるフォールダブル（折りたたみ）レンズが主流となっています。

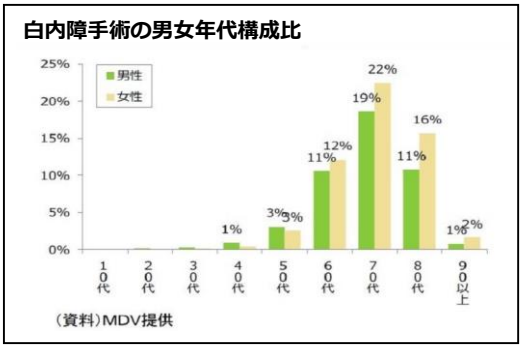
眼内レンズ国内出荷量



■白内障手術のピークは70代

こちらは、その120万眼の白内障手術の男女年代比です。手術を受ける年代のピークは70代です。女性の方が多いのは平均寿命と相関していると考えられます。また、65歳以上の約7割が白内障に罹患しているといわれていますが、実際に手術を受けているのは約3%と推定されます。しかし今後、眼内レンズの進化に伴って、初めて手術を受ける方のみならず、術後、新しいレンズへの交換を希望する層も増えていくことが考えられます。

白内障手術の男女年代構成比



⑧ MSアイケアスクール学校長によるレンズ技術セミナー

■眼内レンズの知っておきたいポイント

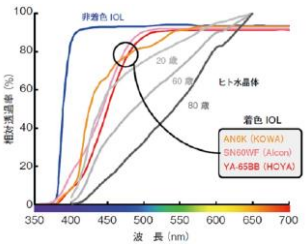
眼内レンズは、硬さや素材、親水性や疎水性など、さまざまなタイプがありますが、非常に光学特性の優れたものが主流となっています。設計に関しては、角膜の球面収差を防ぐために球面から非球面に移行してきています。レンズのカラーも、従来の無色のものから、光の乱反射を抑える有色に移行してきています。構造については、支持部が分かれているスリーピース型と、一体となったワンピース型のものがあります。

眼内レンズの知っておきたいポイント：単焦点

■眼内レンズとヒト水晶体の透過率比較

加齢に伴って、私たちの水晶体は透過率が減少していきます。ゆえに無色の眼内レンズを使用した場合、光がそのまま入ってくるため、非常に眩しく感じやすくなります。代表的な着色レンズですら、20代の方の水晶体を上回る透過率となり、高齢の方においては相当な眩しさを強いられてしまいます。そこで私たちはメガネ専門店にもできることがあると考えています。HEVやブルーライト、紫外線などの有害な波長の光を遮断し、眩しさからも眼を保護する高機能サングラスは、現在、注目を集めています。

眼内レンズと
ヒト水晶体の透過率比較



■眼内レンズの知っておきたいポイント

右図の多焦点の眼内レンズの中で、日本において先進医療認定されているのは、現在、遠方・近方の回折型2焦点のレンズのみです。ほかにも、遠方・中間の分節屈折型2焦点レンズ、遠方・中間・近方の回折型3焦点レンズがありますが、日本では先進医療として正式に認定されていません。とはいえ、お客さまにおいては、遠近だけでなく、中間距離が2焦点より見やすい3焦点のレンズのご要望が増えてきています。

眼内レンズの知っておきたいポイント：多焦点

こちらでは、セミナーの一部を抜粋してご紹介しています。
眼内レンズ使用者の視力検査方法やメガネの作製など、さらに詳しい情報やご相談につきましては、下記までお問合せください。
また、当社の自社開発によるHEVカット効果のあるレンズについても、詳しい情報やご相談につきましては、下記までお問合せください。